

○狂言  
**太刀奪**

岡村和彦

●仕舞

**白楽天**

山本博通

**班女**

山本章弘

**大江山**

波多野晋



平成28年6月4日(土)

1時開演

# 6月のたにまぢ能

●能  
**桜川**

さくらがわ

森本 哲郎

母ひとり子ひとりの貧しい家  
がありました。  
娘はみずから商人に身を売  
ります。それを知った母は泣  
きながら家を飛び出して娘  
を尋ねる旅に出ますが...



●能  
**葵上**

林本 大

光源氏の正妻、葵上は、物の怪にとりつかれ重態となりました。怨霊の正体は源氏の愛人で嫉妬に狂った元皇太子妃、六条御息所でした。怨霊と修験者との戦いが繰り広げられます。

**89<sup>th</sup>**  
山本能楽堂  
Since 1928

■主催/公益財団法人 **山本能楽堂**

入場券 ●一般券 5,500円 ●学生券 3,000円 綴り割引券(3回分) ●一般券 15,000円

お問い合わせ 山本能楽堂/Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744 公式ホームページ <http://noh-theater.com/> e-mail [info@noh-theater.com](mailto:info@noh-theater.com)

国登録有形文化財  
**山本能楽堂**  
公式ホームページを  
ご覧ください  
<http://noh-theater.com>



※山本能楽堂は平成18年12月に指定された国登録文化財です。

開場時間12時 午後1時始

能 「桜川」

シテ(狂女) 森本 哲郎 後見 今村 一夫 地謡 山本 順之  
子方(桜子) 吉井 晟朝 林本 大 波多野 晋  
ワキ(勅使) 福王 和幸 笛 貞光 義明  
ワキツレ(従者) 森本 幸治 小鼓 久田舜一郎  
ワキツレ(従者) 是川 正彦 大鼓 上野 義雄  
ワキツレ(住人) 中村 宜成



森本 哲郎

● あらすじ

日向国(主に今の宮崎県)、桜の馬場の西に、母ひとり子ひとりの貧しい家がありました。その家の子、桜子(さくらご)は、母の労苦に心を痛め、みずから人商人に身を売ります。人商人が届けた手紙から桜子の身売りを知った母は、悲しみに心を乱し、泣きながら家を飛び出して、桜子を尋ねる旅に出ました。それから三年。桜子は、遠く常陸国(今の茨城県)の磯辺寺の住職に弟子入りしていました。春の花盛り、住職は桜子らとともに、近隣の花の名所、桜川に花見に出かけます。折しも桜川のほとりには、長い旅を経た桜子の母がたどり着いていました。狂女となった母は、川面に散る桜の花びらを網で掬うのでした。住職がわけを聞くと、母は別れた子、桜子に縁のある花を粗末に出来ないと言います。桜子への想いを募らせ狂乱の極みとなった母は住職が連れてきた桜子と対面します。母は正気に戻って嬉し涙を流し、親子は連れ立って帰ります。後に母も出家して、仏の恵みを得たことから、親子の道は本当に有難いという教訓が語られます。

狂言 「太刀奪」

シテ(太郎冠者) 岡村 和彦 後見 小林 維毅  
アド(主人) 阿草 一徳  
アド(道通り) 牟田 素之

● あらすじ

北野のお手水の会(神前にお手水を献ずる御手洗い祭)に、主人が太郎冠者を連れて出掛けます。その途中、見事な太刀を持った男が通りかかったので、主人がその太刀に興味を示すと太郎冠者は盗んで来ようとして提案します。主人はやめるように言いますが太郎冠者は主人の刀を借りて行ってしまいます。太郎冠者は太刀に手を掛けますが、逆に男に脅されて主人の刀を取られてしまいます。情けなく主人の元に帰り、今度はふたりで男を取り押さえ刀を取り返そうと考え待ち伏せをしますが...

休憩10分

仕舞 「白楽天」 山本 博通 「班女」 山本 章弘 「大江山」 波多野 晋  
地謡 松浦 信一郎 前田 和子 吉山 有 山下 麻乃

能 「葵上」

シテ(六条御息所の生霊) 林本 大 後見 森本 哲郎 地謡 山本 章弘  
ツレ(巫女) 今村 一夫 前田 和子 松浦 信一郎  
ワキ(横川小聖) 喜多 雅人 山本 博通  
ワキツレ(臣下) 是川 正彦 今村 宮子  
アイ(下人) 茂山 良暢 小鼓 清水 皓祐  
大鼓 守家 由訓  
太鼓 井上 敬介



林本 大

● あらすじ

光源氏の正妻、左大臣家の息女の葵上は、物の怪にとりつかれ重態でした。照日(てるひ)の巫女を招いたところ、物の怪の正体は、元皇太子妃で源氏の愛人の六条御息所(みやすどころ)の怨霊とわかりました。御息所は、気高く教養深い高貴な女性ですが、近頃は源氏の足も遠のき、正妻の葵上にやり場のない嫉妬に駆られ、後妻打ち(うわなりうち) [妻が若い妾(めかけ)を憎んで打つこと] で、葵上の魂を抜き取ろうとします。家臣たちは、御息所の激しさにおののき、急ぎ偉大な法力を持つ修験者(しゅげんじゃ)横川(よかわ)の小聖(こひじり)を呼びます。小聖が祈祷を始めると、御息所の心に巣くっている嫉妬心が鬼女となって表われました。恨みの塊となった御息所は、葵上のみならず祈祷をしている小聖にも襲いかかります。

午後4時半頃終了予定

\*無料アプリ We Noh には「葵上」のアニメや演目の説明もありますので、よろしければお楽しみください。

公益財団法人 山本能楽堂 賛助会員募集のお知らせ

山本能楽堂は大阪市中央区徳井町(谷町4丁目)に、山本家先代 山本 博之が、昭和2年に建設しました。その後戦火に遭い、一度焼失しましたが、昭和25年に再建し現在に至っております。そしてこの度、更なる能楽の普及、発展をめざし、公益財団法人 山本能楽堂を発足致しました。それに伴い、さらに広く皆様方に能楽の楽しさに触れ魅力を感じて頂くため、平成19年度より賛助会員を募集させて頂く事になりました。ご入会頂きますと「たにまち能(山本定期能)」のご招待、各種公演の御案内、山本能楽堂のご使用料金の割引等の特典を受けて頂く事ができます。お一人でも多くの方に御支援頂き、能楽の普及にお力添えを賜りますれば、何より有難く、御賛同賜ります様よろしくお願い申し上げます。

	個人会員 A	個人会員 B	法人会員
年会費1口	10,000円	30,000円	100,000円
ご招待(一口あたり)	たにまち能招待券2枚(通常11,000円)	たにまち能招待券6枚(通常33,000円)	たにまち能招待券などもしくは舞台使用料を会費分値引
その他の特典	●各種公演の御案内を無料送付 ●会員様のみのイベントに参加		

●招待券はご本人様以外でもご利用いただけます。 ●ご入会頂いた方には、税制上の優遇があります。詳細は能楽堂までお問い合わせ下さい。  
●通常「たにまち能」は年間6回の公演で、1回につき2種類の能と狂言の構成になっております(1回は素謡会)1回券 5,500円  
●招待券は1月から12月までの公演でお使いできます。  
※素謡会とは「能」の要素には謡(歌)と舞があります。お囃子や舞、動き、装束などを除いた謡の部分を開いていただくもので、謡の美しさや妙味を楽しんでいただけます。  
ご入会頂けます方は、下記お問い合わせ先までおたずね下さいませ。後日、(公財)山本能楽堂より書類をお送りさせていただきます。会員になられる前に、能楽堂の見学をご希望の方はご連絡下さい。

山本能楽堂+team OKINA  
が開発した無料アプリ  
**We Noh!**  
能について楽しく学べる能楽アプリ。  
能の演目のアニメやゲームもあります。  
気軽にダウンロードして楽しんでください。

■主催/公益財団法人 **山本能楽堂**  
山本能楽堂 / Tel. 06-6943-9454 Fax. 06-6942-5744  
e-mail ticket@noh-theater.com  
山本能楽堂のホームページ / http://noh-theater.com



次回のたにまち能  
平成28年7月3日(日) 13時開演  
**素謡会**

※許可なき撮影、録音は著作権、肖像権などに抵触いたしますので、ご遠慮下さいますようお願い申し上げます。